

キハ75形の不具合が多発！！

3月14日のダイヤ改正後に高山線・太多線でキハ75形の不具合が多く発生しています。具体的には、ワンマン列車運転時の車内案内表示不良やワンマン設備不良などで、急にワンマン機器が動かなくなったり、整理券が間違っ出てきます。会社は、故障の対応がしきれず、急遽キハ75形のワンマン列車扱いを車掌乗務に変更しました。

考えられる原因は、ダイヤ改前はキハ75形のワンマン列車運用が少なかったことや車両の配属が美濃太田車両区に変わったことなどが考えられます。

休日出勤と超勤で 悲鳴をあげる車掌！！

高山線・太多線にキハ75形が初めて投入され、車両整備が不完全なままダイヤ改正を迎えたため、会社はキハ75形ワンマン列車に急遽美濃太田運輸区の車掌を乗務させたことにより、休日出勤と超過勤務が常態化しています。また3月は年度末の月であり、公休、特休、年休の整理をする月であり、その月に臨時の勤務が入ることは大変なことです。

現場で苦勞している社員に 頭を下げる！

名古屋地本は、この問題に対して会社に口頭申し入れを行いました。会社は「対処している」「調査もしている」「原因がわかり次第対応する」などと回答をしました。

しかし、ダイヤ改正は計画されていたことであり、試験走行や動作確認など万全を期したはずですが、にもかかわらずこのような結果がでたことに対する責任は誰にあるのでしょうか。当然お咎めはあるのですが、常々現場では「確認ができていなかった」として、誰が間違えたか分かるように掲示をだしています。今回の件も現場の車両区では省力化が進む少数社員で対応していたはずですが、そのことに無理はなかったのでしょうか。今回の運用に当たり指示を出した責任者は、現場で苦勞している社員に頭を下げるべきです。